

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	坂井 亮人	学校名	大東市立住道南小学校
実施学年	小学校 6 年	教 科	理科
単元名	大地のつくりと変化		

《学びを深めたいポイント》

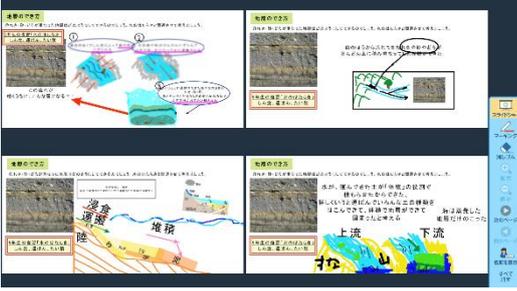
大地のつくりと変化では、児童自身が身近に感じることができにくい、地面の中の様子や地層のでき方などについて学習する。その際に身近でないがゆえに自分の考えをもちにくい児童もおり、受け身な授業になりがちなのではと考えた。そこで、事前に基礎知識や課題について ThinkBoard で動画を作り事前に見ておくようにした。基礎知識をもとに自分の考えをまとめてから授業に臨む反転的な形をとることで、授業内で自分たちの考えを交流したり、実験の計画を立てたりと積極的に活動できるようにしたいと考えた。

《SKYMENU 活用のポイント》

事前課題として、動画を視聴した後に発表ノートに自分の考えや自身で考えた実験計画をまとめさせる。授業では、個人が提出した発表ノートを活用し、班で交流し考えを深められるように活用する。また、交流後にさらに班で発表ノートを上書きしたり、まとめたりする活動を行う。

友達の考えを共有できるため、進んで友達の考えを閲覧したり、事前に発表ノートに自分の考えがまとまっているため安心して交流に参加したりできる。また、提出ボックス内の閲覧を許可することで学級の全てのノートを見ることができる、友達の考えのまとめ方や図の示し方などを参考にすることができ、回数を重ねるごとにより良い準備につながる。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	1. 前時の振り返り 「学校の校庭の地面の下はどんな地層になっていたか」 2. 本時の課題の確認	<div data-bbox="359 432 1230 528" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> それぞれの発表ノートをもとにして、班で実験計画を立てよう。 </div>	
展開	3. 「れき、砂、どろ」が重なった地層はどのようにしてきえるのか考える ・事前課題の発表ノートを交流 ・班で一つの仮説を立てる。 4. 班で実験計画を立てる ・個人作成した実験計画を交流 ・班で行う実験計画をまとめる。 ・実験の役割を決める。 ・個人作成の実験計画交流後に仮説を変更してもよい。	・事前課題で個人作成した発表ノートを交流する。  ・発表ノートで個人作成した発表ノートをもとに班で行う実験計画を立てる。 	・事前課題で提出済みの発表ノートを班で交流し、一つの仮説を立てさせる。その際に新たにページを作りまとめても、誰かのノートに加筆修正してもよい。 ・発表ノートに個人作成した実験計画を交流し、班で行う実験計画をまとめる。その際に新たにページを作りまとめても、誰かのノートに加筆修正してもよい。 ・班活動中に他の班の発表ノートを閲覧してもよい。
まとめ	5. ふりかえり ・次時に実施できる計画を立てることができたか。		

《実践を振り返って》

単元を通して、事前に動画視聴と課題を与え、発表ノートに取り組んでくことで話し合いも活発になった。また、事前に考えをもつことができているため児童が自信を持って取り組めたり、積極的に授業に参加したりすることができた。他にも導入や調べ学習のまとめにも使用したが、個人で作業していても提出ボックス内の閲覧を許可していたため、普段自分の考えや個人での学習に不安を持っている児童も安心して書き込むことができていた。

今回は、発表ノートの基本ではあるが個の考えやまとめを容易に共有できることは意見交流を活発にし、考えを深めたり違いに気づいたりすることに事情に効果的であると実感した。

・導入



・調べ学習

